

棚田くんの想い

兵庫県の姫路の北の棚田がある地域、市川町に住んで、
自給自足に近い生活している私にとって本当に大切なもの。

それは大自然の息吹を感じながら、
本音の想いを仲間と語らいながら暮らすこと。

そして何より棚田が産み出す生命のサイクルと
その力を通じた多くの方々との今までの不思議な「ご縁」です。

この「ご縁」を通じた仲間たちと自然に包まれ対話しながら、
楽しみながら、命の深淵に触れあえる場所。

その最高の場所で人生の最も幸福な時間を共に過ごし、
成長する【楽縁（らくえん）】を創造していきます。

今まで棚田のすばらしさを伝えるために
15年間かけて取り組んできた子どもたちとの
自然体験やイノシシや鹿にお米を全滅させられた経験、
悔しい想いをした仲間の死、都市と農村に住む人たちが
想いを一つにして創り上げた感動の巨大松明の火、
仲間と食べる炊き立てホカホカの棚田米とおいしい手作りの料理。

若さゆえ最初はやみくもに走ってきた私ですが、
今ではそれらが「夢見る理想の楽園」ではなく、
「大地に根ざした本当の楽縁」を創り出すための活動だったのだと気づきました。

そこでまず、日本古来から人々の暮らしと
自然が共生してきた悠久の美しい棚田の近くに
仲間と共に農作業、自然体験をしながら
心地よい暮らしを体感できる場を創り上げました。

それが2020年にオープンした民宿：古民家「しろめて」です。

ここは自然と人の本音が引き出されるやわらかな場所で、
私は仲間の意見をやさしく尊重して受け入れられるようになりました。

一緒にいるからこそ気づく二度とは訪れない「ご縁」に
感じたことのない「感謝」が湧いてくるのです。

人と自然の循環、一期一会の瞬間の中で
改めて自分の個性を知ることができたら、
その変化を最大限に活かしてより自分らしく輝いて生きていける！
そう強く実感しました！

試行錯誤、私が長年かけてたどり着いた大切な想い。

その想いの一步を実現するために10月10日に
「棚田くんが行く」という本をポプラ社に制作を依頼して出版予定と
なりました！

その中には小学生の頃にいじめられ、辛かった想い・・・
そして、その姿が失われている棚田・古民家・殺されている馬と重なり、
それらを再生することが、自分を再生することにもつながっていると
いう原点も詰めています！

その想いに共感していただいた方々、
これから参加していただける方々と
自然と調和した心地よい暮らしを目指して
「楽縁」の創造という一步を踏み出していきます！

人との出会いが人生を変える、そして、誰といつどこで過ごすかを大切にしながら。